

こんなことができます!

陸域環境や農作物への
放射性物質の移行に
ついて、普及啓発
します



夢

福島県民が安心して元の平
穏な生活が取り戻せるよう
にしたい

環境放射能研究所

塚田 祥文

TSUKADA Hirofumi

教授 博士（農学）

研究室 URL

[http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/
index.html](http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/index.html)

専門分野

環境放射生態学

特許情報、著書、論文

『なすびのギモン(食品編)』(2015年)、『日本土壌肥料学雑誌』(2013、2014年)、『最新農業技術 土壌施肥 vol.4』(2012年)、『土づくりとエコ農法 44』(2012年)など



農業用水の採取



教員の専門分野は、陸域環境における放射性物質の挙動に関する研究です。特に、土壌－作物間における放射性物質の移行についての成果は、IAEAの成果物や平成24年4月から施行された飲食物の基準値を求める際にも用いられています。また、事故後は農林水産省から示された「放射性セシウム濃度の高い米が発生する要因とその対策について」、「ため池の放射性物質対策技術マニュアル」等にも活用されています。更に、福島県等のアドバイザー、検討委員会、各研究機関の評価委員等を務め、専門的な立場から指導助言を行っています。

想定するパートナー

国、地方自治体、研究機関、住民など

具体的な連携、事業化のイメージ

放射能対策のための各機関との連携や調査研究成果に基づく提言等

これまでの取組事例

農業環境とイネの調査成果に基づく要因解析（農林水産省）、農業用水の調査成果に基づく管理マニュアル（農林水産省）、環境、飲食物中放射能濃度に関する普及啓発（環境省、消費者庁、厚生労働省等）